

宮城野会 会員数 189 名 (12/1 現在)

放送大学と宮城野会の一人ひとりをつなぎます

放送大学 同窓会

宮城野会会報

学位記伝達式の日の宮城学習センター **47号**

発行日 : 2023 (令和 5) 年 12 月

発 行 : 放送大学同窓会

「宮城野会」

放送大学宮城学習センター内

〒980-8577

仙台市青葉区片平2-1-1

TEL : 022-224-0651

Fax : 022-224-0585

E-mail miyagi-sc@ouj.ac.jp



CONTENTS

2～6 宮城野会 とびくす

7～9 招待席 「今年もサンマは・・・」
客員教授 片山 知史

10 交流ひろば

11 宮城学習センターからのお知らせ

12 同窓会宮城野会からのお知らせ

宮城野会の
活動を紹介
するページ
です

宮城野会

学位伝達与式 9月24日（日）4年ぶりに宮城学習センターで行われました。

会 長 祝 辞

皆さん！本日はご卒業誠におめでとうございます。

今年の夏はなんと暑く長かったことでしょう。このみちのく仙台でも35度という日、熱帯夜も何日も続きました。でも、流石に9月半ばになり、ようやく夏の扉は閉めかかり、虫の声が聞こえる様になりました今日この頃でございます。自然は季節を忘れることはなかった様でございますね。

当センターに置かれましては、此度36名の卒業生を輩出されました。

高橋満所長はじめ、先生方、事務職員の皆様、本当におめでとうございます。

今、学位記を胸にされた皆さんの脳裏に去来するものは何でしょうか？

勉学をもっぱらとする一般の通学制の大学生（…でも、ここ3年程はコロナウイルス禍の為にオンライン授業とかで通信制の放送大学とあまり変わらない授業形態であったかも知れませんが…）と違い、一人何役も担いながら、ご苦労されて単位認定試験に臨まれ、合格した時の、あの小躍りしたい様な喜びでしょうか？それとも新知識を得られた時の高揚感でしょうか？様々な思いが走馬灯の様に脳裡を駆け巡っているのかもしれないね！

ご家族・職場の同僚や仲間の協力、又は学生さん同士の励ましがあって、苦しみを乗り越え、その結果が本日の栄誉であることは容易に拝察できるところでございます。

現代に生きる私達は、学びたいと云う情熱があれば学ぶことができると云う環境にあります。皆さんご存じのように、私達は日本国憲法による学問の自由の保障、能力に応じて等しく教育を受ける権利を保障されています。

ノーベル賞を授賞された、パキスタンのマララさん達、北朝鮮はじめ多くの国では、まだまだ学問の自由・思想の自由の環境に恵まれておりません。

また、最近のロシアによるウクライナへの侵攻の暴挙も忘れることができません。

私が申すまでもなく、この放送大学には、入学試験がなく（大学院にはありますが）入学ができるという先人の画期的な考え方から、“いつでも・どこでも・誰でも”のキャッチフレーズのもと、開かれた通信制の大学です。（でも巷の噂では、卒業するにはお点が辛く大変厳しいと云うことではある様ですが…）

この開かれた放送大学が存在する為に学ぶ機会を得ましたことに、心から感謝し、その幸いを皆さんとともに噛みしめたいと思います。

皆さんがこの放送大学で学んだことは実生活に於いて大なる自信を、学問に裏うちされた自信は、何物にも代えがたく、勇気を与えてくれる事でしょう。そして又、皆さんはこの放送大学で学んだことを、社会に、地域に還元すると云う義務もあります。

皆さん、大いに羽ばたいてください。今後の皆さんの御活躍を心より祈念致しております。

とびくす



最近の出来事で大変心にかかっております事は、タイタン号の事でございます。

千五百の御霊が眠るタイタニック号へのツアー見学、傲岸不遜だと思っております。タイタン号は、一部には安全性の指摘を受けながらも、無謀な潜水に招いた惨劇であり、替えがたい貴い命を守るためには驕りは禁物、“驕る平家は久しからず” 僭越ではございますがー。皆さんには“謙虚にして驕らず”という言葉をお贈りしたいと思えます。

さて皆さん、次の目標は何でしょうか？

卒業は終わりではなく、又新しい出発と言われております。もう既に再入学の申し込みをされた方、ここで一息つきたい方、どちらのお考えの方も放送大学同窓会「宮城野会」へのご入会をお待ち致しております。

当会は平成12年6月25日に設立されました。当時の今は、故渡邊信夫所長のお声掛けもあり、後輩の為にも、自分も放送大学に繋がっていたい、仕事だけ出来ても駄目、無償のボランティアが必要、という思いが同窓会設立の大きな原動力となりました。会員相互の親睦と向上を図り、放送大学の発展に寄与することを目的にしております。会の設立を故渡邊所長は大変喜ばれ、代々の所長、先生方、職員の皆様にも、いつもご協力を戴き大変感謝しているところでございます。当会は1年に1回 4月の総会、年2回 6月と12月の会報発行、上半期に1回の行事、今年は8月に東北大学の“ひすとりあ”と魯迅の階段教室の見学、下半期-2月に卒業・修士論文の発表会の予定です。発表者がまだ1名しか決定しておりませんので、ご希望の方はどうぞ役員まで。また、入会の方もどうぞ役員まで。9月、3月には卒業祝賀会。此度は、コロナ、インフルエンザのためにやむなく中止せざるを得ませんでした。大変残念でございますが…。皆さんの行事への参加もお待ちしております。

大変お粗末ではございますが、放送大学同窓会「宮城野会」を代表いたしまして祝辞とさせていただきます。 本日は誠にありがとうございました。

令和5年9月24日

放送大学同窓会「宮城野会」会長 佐々木美枝子

代読 副会長 齋藤 けさよ



会長祝辞



受け付け

入学者の集い 10月8日(日) ホテル白萩で行われました。

「宮城野会」では、バッチの販売、学習相談、活動紹介パネルの展示を行いました。スマートフォンの活用の仕方や科目履修の仕方など、熱心に質問されていました。



会長あいさつ



学習相談



活動紹介パネル展示

会員研修会 と 茶話会

8月22日(火) 13:00～16:30

片平まなびの館1階にある「東北大学ギャラリー ひすとりあ」と「魯迅の階段教室(旧 仙台医学専門学校六号館)」を見学しました。猛暑の日でしたが、クーラーのきいた館内で快適でした。参加した皆さんは熱心に東北大学の先生の説明に聞き入っていました。

見学後宮城学習センターで茶話会を行いました。

ひすとりあ 見学



魯迅の階段教室 見学

参加した皆さんの感想・意見等



茶話会

- ・いつも多方面から興味・関心の高そうなことを考えて企画していただくので、楽しみにしています。これからもよろしくお願いいたします。
- ・宮城野会は、卒業した方、この方が中心の活動なので、多くの人に参加してほしかった。ただし、参加した方にとっては、良い体験になったのではないかと思います。

私は、今日の企画は良かったと思います。天候は時期と重なりますから、仕方ない。役員の皆様、あまり気にしないでください。

- ・学習センターがすっかり新しく変わっていて驚きました。「ひすとりあ」の見学は、大変良かったです。一人では入りにくかったかも。
魯迅の教室に興味があったので参加いたしました。有難うございました。暑かったですが、大学内も外も暑さを忘れて見学できました。
- ・見学してみたいと思っていた魯迅の階段教室に行けて、感慨深かった。魯迅が学んだ場所で、魯迅への思い、藤野先生への思いがさらに深まった。何より魯迅が座ったところに自分も座ることができたことが、何よりも得難い体験となった。藤野先生の朱の入った魯迅のノートから、藤野先生の熱心さ、魯迅の勉学に取り組む意欲が伝わった。私も、まだまだ勉強を続けなければ、という思いを強くした。東北大学の先生の解説があったので、学びのある見学ができ、とても有意義だった。
- ・良い企画でした。茶話会も良かった。
- ・本日の続きとして、東北大・宮城学習センター周辺の樹木について見学（説明付きで）できたら良いと思います。
日程を考える時、タテ、ヨコ、ナナメの周囲のことを考えて日程を決定したほうが良いと思います。
- ・夏場の見学会は少しきつかった。
魯迅の階段教室が見学出来て、興味深かった。
- ・近隣の見どころ・名所を、説明を聞きながら歩いてみたい。
片平には半年しかいなかったが（その後川内に移った）、魯迅の階段教室は初めてであった。本日やっと見ることができて良かったと思いました。
- ・皆さんに、会員研修何が良いか伺いたい。

東北・北海道ブロック地区交流会 in 八戸

9月9日（土）・10日（日）
第10回東北・北海道ブロック地区交流会が行われました。

一日目に青森学習センター八戸サテライトスペースを会場に情報交換が行われ、二日目は、蕪島、水産科学館の見学が行われました。



同窓会情報交換会

第 10 回東北・北海道ブロック地区交流会に参加して

報告者 宮城野会 山中政裕

9月9日、10日の2日間にわたって開催された、放送大学同窓会「東北・北海道ブロック地区交流会」に初めて参加させていただいた。今回は、青森県学習センター八戸サテライトスペースを会場に27名が参加し、情報交換を行いながら同窓会の発展と地域に根差した放送大学を目指し交流会が開催された。

交流会は、青森同窓会関川会長の歓迎のあいさつで開会し、第1部同窓会情報交換会、第2部記念講演として進められた。情報交換会では放送大学加藤副学長から放送大学の近況について紹介がなされた。放送大学の今日的な話題として、新型コロナの感染症区分第5類移行に伴い、面接授業（対面）の再開と新たな工夫として、面接授業の定員制限の解除と新たにライブWEB授業やそれ以外の授業形態の試みが開始されること。第2に高校と大学の連携として、夏休みの間に高校生が放送大学の教材を利用して学習する仕組みづくりで、すでに試験研究として放送大学と千葉県の高校との間で実施している。第3に、昨今の人工知能（AI）の急速な普及が進んでいることから、放送大学でも利用できるか検討を開始したことなど、放送大学を取り巻く状況が紹介された。これらの取り組みは、放送大学が社会の変革に対応するとともに、社会の期待に的確に応えている努力が伺えた。

参加道県同窓会の意見交換では、課題やユニークな活動が報告された。共通の課題では、新しい会員の確保と役員の選任が難しい現状や、活動するための財源確保も厳しい現状が報告された。活動では、新型コロナ感染により活動が制限され、会員同士の学びや交流の機会が薄れ、同窓会組織力にも影響を及ぼしており、役員がかなり苦慮している。一方で、地域に貢献する取り組みとして、山形県では最上川フォーラムというボランティア団体に加盟し、最上川の水質調査やごみ拾いなど地域環境保護活動を推進。福島県では、浜通りフィールドワークや、県内大学サークルと共催で歴史散策やミニ講演会を実施していることや、福島県主催の湖未来環境保全活動に参画し、猪苗代湖及び流入する水質調査を行い、その成果を発表している。このように同窓会会員交流はもとより、環境保護活動などの社会貢献活動などへも積極的にかかわっている。

今回の交流会に参加して、コロナ禍で活動の制約は各同窓会にかなりの影響を与えたものの、工夫しながら学びや交流を行い、環境保護活動など社会貢献へも関わりを持つなど素晴らしい活動が行われていた。放送大学もあらたな課題への挑戦や取り組みの考え方も検討しており、今後現役学生と同窓会とのかかわりが益々重要になると思われる。

最後に、有意義な交流会への参加の機会を与えていただいたことに感謝を申し上げて報告とする。



記念講演&実演
「あなたの知らない
マジックの世界」



今年もサンマは・・・

放送大学宮城学習センター 客員教授 片山 知史

2022 年度から放送大学の客員教授を務めています片山知史です。所属は東北大学大学院農学研究科です。研究室は水産資源生態学分野。沿岸資源の変動機構を研究しています。本稿では、東北の秋の味覚であるサンマを中心に、近年の状況を解説したいと思います。

サンマ、サケ、スルメイカ

皆さんご存じのとおり、残念ながら今年も東北の主要な秋漁の資源であるサンマ、サケ（シロザケや秋鮭と呼ばれますが、学名はサケです）、スルメイカ（塩乾品をスルメと呼びますが、学名もスルメイカです）は不漁です。しかも歴史的な低水準。皆さんがっかりですね。これらの魚介類は、東北沿岸の水産加工業の主力原料です。2011 年の東日本大震災後に、ようやく工場を再建して加工産品を生産してきた中、地元の安くて新鮮な原料が入手できないことは、大打撃です。

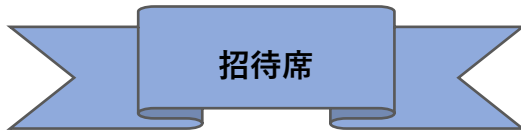
実は震災後に再建した水産加工業は、現在三重苦にあります。

1 当時、セシウムの問題があり、東北産の産品は市場や店舗から締め出されました。セシウムの状況も落ち着き、消費されるようにはなりましたが、一度失った市場や棚（売り場の）はなかなか取り戻せませんし、影響は続いています。

2 工場再建は、補助金と借金で賄われました。その借金の返済は主に 5 年後から始まり、ちょうど上記水揚げ量が減少し始めた 2015 年と重まりました。工場を作る際に補助金を受ける条件には度衛生基準（HACCP）が課せられており、ほぼ最高のスペックで建設しました。現在その維持費も大きな負担になっています。

3 原料不足が深刻です。以前よりいかに塩辛やイカ加工品には、他の種類のイカが多く使われています。しかし、刺身用の冷凍品には、サンマ、スルメイカが必要です。塩鮭には高級なベニザケ、安価な養殖ギンザケも使われますが、新巻鮭はやはりサケが用いられます。はらこ飯のイクラについては、ギンザケは使えません。ギンザケはすべて成熟する前に出荷されますので。

サンマの塩焼きが、はらこ飯が、いかソーメンが食べられない！といった食卓や居酒屋の話だけでなく、東北地方全体の問題でもあることが理解できたと思います。



サンマの不漁の原因は？

サンマの不漁の原因は、基本的にサンマ資源量の減少です。漁業資源の資源量は漁獲圧と環境要因によって変動します。サンマ、サケ、スルメイカのいずれも、1990 年半ば以降は豊漁でした。しかし 2015 年前後から水揚げ量が大きく減少してしまいました。もしこの減少が乱獲ならば、以前に豊漁だった原因を説明できません。主要要因は環境変動です。実は、海の生物資源の多くは、地球規模の気象海洋環境が数十年スケールで変動することによって、大規模に増減しているのです。サンマ、サケ、スルメイカも、今ちょうどその低迷期にあるのです。

もう一つの背景には、分布域が沖合に移ったこと、さらに沖合のサンマが日本の近海まで回遊してなくなったことも影響しています。三陸沖は北からの親潮と南からの黒潮が混じわることで、世界三大漁場の 1 つが形成されます。しかし近年、親潮の勢力が弱く、沿岸に寄って来ません。遠い沖を通過して、産卵場である黒潮域に南下してしまいます。実はこの親潮が弱いことで、コンブ、ワカメ等の海藻（養殖を含む）が必要とする栄養塩が不足気味であり、岩礁資源の生産にも影響を与えています。

サンマが減少したことについては、隣国が先に獲ってしまうから、という報道が少なくありません。もちろんその影響はゼロではありませんが、主要要因ではありません。店で並んでいるサンマを見ると、ほとんどが小さいか痩せていますね。もし先に多く獲られてしまったなら、サンマ 1 尾あたりの餌の量は多くなるわけですから、大きくなるか太るはずですが、最近何かあると全て、**国が悪い、**国のせいだという声が聞かれますが、それは偏見かちょっと意図的ですね。

今後のこと

サンマ、サケ、スルメイカはこのまま消えてしまうのか、いつ復活するのか、とよく問われます。答えは「いずれ回復します」です。その「いずれ」は数年後かもしれませんが、10 年を要するかもしれません。地球気象海洋の大変動は予測できません。

◆ 「招待席」は、客員の先生に原稿をお寄せいただいています

一方、親潮が弱くなっていることや、いろいろな南方生物の北上には、地球温暖化が関係している可能性が高いようです。実際に、宮城沿岸の表面海水温は2015年を境に1~2度上昇しています。海洋生物の資源変動や分布の変化への影響が顕在化しているように思えます。

ただし、身近な天気や生物の変化が全て、地球温暖化が原因だと捉えるのは短絡的です。それら変化の多くはずっと昔から生じていたことも多いです。地球表層が抱えるエネルギーが増加しているため、気象の変動幅が大きくなることはそのとおりですし、全体的に気温や海水温が上昇しています。しかし地球温暖化は増減を繰り返しながらじわりじわりと進むものです。私たちもそれをくい止めるためには、特効薬ではなく長期的な対策が必要なのです。

美味しいサンマをお腹一杯堪能するためにも、根本的で長期的な地球温暖化への取り組みと対策が必要でしょう。

〈プロフィール〉

片山知史（かたやまさとし）

東北大学農学研究科 水産資源生態学分野 教授

1966年東京生まれ、東北大学農学部卒 同助手、
水研センター中央水研・主任研究員、室長を経て、
2011年4月より現職

専門：沿岸資源学



沿岸資源生物の生態および生息環境の特性を明らかにしながら、資源が変動するメカニズムの解明と資源管理理論の構築に取り組んでいる。

著書：「魚と放射能汚染（芽ばえ社）」2016年「漁業科学とレジームシフト（東北大学出版会）」、「耳石が語る魚の生い立ち 雄弁な小骨の生態学（恒星社厚生閣）」2021年、「沿岸資源調査法（恒星社厚生閣）」2022年など。

私と放送大学



谷津 美智子

私と放送大学の出会いは、平成16年に司書教諭の取得のために、科目履修生になったことです。

その後、特別支援学級担任となり、養護学校教諭の免許も取得しましたが、障がい児を持つ複雑な保護者の思いを理解して、教育効果を上げたいと思い、全科履修生として「心理と教育コース」に入学しました。多面的な指導ができ、特異な行動パターンをとる特別支援学級の児童や保護者との関係も、良好に保たれるようになり、「知は力なり」を身をもって体験できました。

学ぶことの楽しさを覚え、今回、六つ目の「情報」コースの卒業となりましたが、20年間継続できた要因は、三つ考えられます。

一つ目は、知らないことを知ること、視野が広がり、いろいろなことに興味を抱くようになったこと。

二つ目は、放送大学の面接授業で知り合った方々から、学習方法を教わったり、励まされたりしたこと。

三つ目は、平成21年、角田市に視聴学習室が開設され放送教材が利用しやすくなったこと。

特に、人との出会いが、継続できた大きな力になっていると思います。

夜、居眠りをしながら、放送教材を視聴していた私に、心理学演習で同じグループだったOさんは、「家事をしながら、視聴している。」と教えてくれました。

また、栃木県から面接授業に来所したMさんから、「若いんだから、がんばりなさい。」と激励されました。親子ほども年の離れたMさんは、80才で2回目の卒論を書き上げ、89才でシルクロードに仏像を調査しに行ったという方で、その言葉が、学び続けるのを後押ししてくれたと思います。

さらに、宮城学習センターの職員の方々には、いつも優しく接して頂き、感謝しています。

私にとって、放送大学は、単に知識の習得だけではなく、様々な人との出会いによって、世界が広がったように思います。今まで関わってくださった先生方、職員の皆様、共に歩んできた学友の皆様に、感謝しております。

ありがとうございました。

◆ 谷津美智子さんには「名誉学生の称号」が付与されました。

宮城学習センターからのお知らせ

【 2024（令和6）年度 4月入学生募集中！ 】

■教養学部 ■修士選科生・修士科目生 出願受付は以下のとおりです。

第1回募集：2024年2月29日（木）まで

第2回募集：2024年3月1日（金）～3月12日（火）

募集要項は、放送大学ウェブページよりご請求ください。



資料請求 QR コード

ー大学案内・入学相談会ー

日時：2024年1月13日（土）、1月27日（土）、2月3日（土）

① 10:00～ ②11:00～ ③14:00～ ④15:00～

事前予約制。ご希望の時間①～④をお知らせください。

会場・申込先：宮城学習センター TEL022-224-0651

入学相談会申込 QR コード



過去に修得した単位を引き継ぐことができますので、再入学してみませんか。

【 2023 年度 公開講演会を行いました 】

8月26日（土）

東北大学総長特命教授

宮城学習センター客員教授

尾崎 彰宏 氏

専門：美学・西洋美術史・芸術理論

「オランダ美術にあらわれた女性たち
ーレンブラント、フェルメールを中心にー」

10月7日（土）

東北大学文学研究科教授

宮城学習センター客員教授

戸島 貴代志 氏

専門：哲学

「言葉が語る？ー自覚ということー」

2024年度も公開講演会を企画しており、学籍のない方もお申込みできます。詳細は宮城野会会報および宮城学習センターウェブサイト、チラシ等をご覧ください。

【 宮城学習センター配信 SNS のご案内 】

宮城学習センターの公式 X（旧 Twitter）、Instagram を開設しました。

東北大学片平キャンパスの四季折々の草花や、学習センターからのお知らせ等の情報を発信しています。フォローや「いいね！」などよろしくお願いいたします。

follow me !



X (旧 Twitter)



Instagram

@OUJ_MIYAGI

同窓会 宮城野会からの お知らせ

研究発表会と茶話会のご案内

◆ 2024年2月4日（日）

研究発表後茶話会があります。

会 場：宮城学習センター 講義室2

時 間：13:00 ～ 15:30

【問い合わせ先・申し込み先】

宮城学習センターの窓口・電話

Eメールでお申し込みください。

修士論文発表

大黒福太郎さん

放送大学大学院文化科学研究科

人文学プログラム 2020 年度修了

TEL : 022-224-0651

E-mail miyagi-sc@ouj.ac.jp

歌枕「しほがまの浦」の考察

一広義の意から名所歌枕へー

申し込み締め切り

2024年1月24日（水）

まで

皆さん「宮城野会」にお力を!!

会長 佐々木 美枝子

会員の皆さん、お元気でお過ごしでしょうか？

コロナ禍のため、ここ3年程は総会も書面評決にて、また、数少ない行事にしても人数の制限があり皆さんにお会いできず、大変残念に思っております。

さて、このため、卒業・修了祝賀会も行えない状態になっており、新役員の発掘ができずにあります。長い方で10数年、不肖私も、会を立ち上げ、当時の規約では一期2年、二期を限度としていましたので4年間、会長職をして終わりました。その後二度目の会長職をお引き受けし、本年で10年目となりました。創立以来23年間で14年という長きにわたり、異常事態と言わざるを得ません。

私が同窓会創立を思い立ったのは、後輩の方々に集っていただく場所として、また、仕事ばかりではなく、ボランティアの必要性を痛切に思い心の清涼感を得たかったからです。

皆さん、役員になって「宮城野会」に新風を吹き込み、魅力のある会にしてみませんか。また、皆さんも清々しさを感じてみませんか。

皆さんのお申し出を心より願っております。

ご希望の方は、役員にお声がけいただくか E-mail miyagi-sc@ouj.ac.jp
でお知らせください。